

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D2	
		仕様		LGP	
		適用号機		XKR00001～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度			
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2100	
		ローアイドルリング	min ⁻¹	950	
		トルコンストール状態 （冷却水温） （作動油温）	min ⁻¹ （℃） （℃）	— (70～80) (80～90)	
		エンジン油圧	kgf/cm ² KPa （℃） （回転速度）	375～ (60～70) (1800-2400)	
	弁すき間	吸気弁 隙間	mm	0	
		排気弁 隙間	mm	0	
		（測定条件）		（冷間時）	
	燃料装置	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 （冷却水温） （回転速度）	kgf/cm ² KPa （℃） (min ⁻¹)	350 (—) (—)	
		燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ² KPa	設定なし (コモンレール)
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	設定なし		
	〔測定位置・条件〕 〔kgとNの両方で表記〕	[N]	(自動張り調整)		
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル		ペダルの遊び取り付け高さ ペダルの遊びとストローク ペダルの全ストローク	c m c m c m	—
	走行 ミ ク ラ ッ シ ョ ン ・ 油 圧 ラ ン ス	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa kg/cm ²	—
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	—
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	KPa kg/cm ²	—
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	—
			クラッチ油圧	KPa kg/cm ²	—
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)		(℃) (min ⁻¹)	—
		プロペラーシャフト		ボルト締付けトルク	N・m kg・m
	ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	c m c m	—
		ステアリングクラッチ油圧		MPa	
(油 温) (回転速度)		kg/cm ² (℃) (r p m)	—		

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D2	
		仕様		LGP	
		適用号機		XKR00001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
走行装置	クローラベルト	ベルト 張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	
			mm	図1参照	
		鉄 シ ユ ー ー	リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—
			履板取付ボルト 締付けトルク 測定方法・条件	N・m kg・m	170±40 180±5°増し締め
			制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件
作業装置	シ リ ン ダ ー 自 然 伸 縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	17mm/5分 地面から254mm
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	33mm/5分 チルト左一杯
			リッパースリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	6mm/5分 地面から254mm
			リッパースヤンクシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—
	バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)		mm/分		
	作業 機 速 度	(作動油温)		(℃)	
ブルドーザー		リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.2±0.3秒 地面～最大	
		リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	1.3±0.2秒 地面～最大	
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	
(作動油温)		(℃)			
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	kg/cm ² MPa	20.6±0.9 (38～65)	
		(作動油温)	(℃)		
備考					

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
図 1．履帯調整方法	1．車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2．バルブ・カバーを外す。（図は開けた状態） 3．トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ（2）を閉めてください。 5．バルブ・カバーを閉じる。 6．反対側の履帯に同様の作業を行う。